

8/28
赤旗

軽トラトラックから訴え

●三重・いなべ市

三重県の「桑員」戦争法案の廃案」を求め「会」(瀬尾昭忠実行委員長)は26日、いなべ市藤原町、北勢町の山間・農村部で軽トラ・軽ワゴンパレードを行い、同法案の阻止を訴えました。長野県栄村の行動に倣ったもの

で三重県下初の取り組みです。

パレードには予定を大きく超える15台の車と26人が参加。車の列には、農作業中に手を振って応える人、驚きながらも物珍しそうに眺める人と、住民の反応はさまざまでした。参加者のなかには、突然のアナウンス依頼に戸惑う人もいました。が、徐々に調子も出てきて、パレード終了後は「初めての経験で感動した」「やって良かった。訴えは安倍政権にも届くぞ」などの感想が聞かれました。

●長野・佐久市

長野県佐久市白田で憲法9条を守るうすだ



軽トラがデモに出発
1122日、長野県佐久市

の会が22日、軽トラックなど10台を連ねてパレードしました。

出発集会で市川英彦会長が「参議院で廃案にするため決意を持って参加した」とあいさつ。宣伝カーでアナウンスしながら旧田田町内をまわり、途中3カ所街頭宣伝。戦争法案廃案の運動に「多くの皆さんの参加を」と呼びかけました。

軽トラには「戦争法案NO!」などと書いたメッセージボードをはり、のぼり旗も立てました。集落の細い道を通ると農作業中の人や手が止めて車列を見送り、すれ違った軽トラの男性はしばらく車を止め、窓を開け、「頑張れ」と大きな声で激励。沿道にいた10代の子が大きく手を振りました。同会は30日も100万人行動に呼応して宣伝する予定です。

●富山・入善町

富山県の日本共産党入善町委員会は25日、同町内を「戦争法案」に反対して軽トラ3台を運行しました。「海外で『戦争する国』に変える『ストップ！戦争法案』の横断幕、のぼり旗などを掲げた3台の軽トラが連なり、宣伝カーの後を走りました。

入善駅前では、街頭演説も行い、町民らが手を振り、声をかけて

いきました。

宣伝には、松田俊弘、井田義孝の両町議ら8人が参加しました。

平和を願って 豊田で戦争展

愛知

愛知県豊田市で22、23両日、「戦後70年—平和な未来を子どもたちへ」と平和を願う戦争展が開かれ、1100人が会場を訪れました。市内の平和委員会や新婦人、戦争を記録する会など実行委員会主催。28回目。

戦争体験を聞く会では、侵略戦争で中国戦線に従軍した元兵士、トヨタ本社工場に模擬爆弾が投下されたときに工場地下にいた人など6人が証言。参加者から「初めて聞く話で驚くことばかり」の声があがりました。

展示コーナーでは、650人の戦死者を出した拳母地域、米軍の攻撃を受けたトヨタ自動車と戦争のかかわりの資料や戦争遺品が展示されました。

長峯信彦愛知大学教授が「武力では平和は守れない」と題して講演しました。

参加者から「他市では平和イベントの開催や後援をしている。豊田市は知らん顔。おかしい」「安倍さんの政治、本当にあぶない」などの声が寄せられました。